

熱電対の JCSS 校正

校正結果は、ILAC/APACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 対象測定器

貴金属熱電対 R熱電対、S熱電対、B熱電対
 卑金属熱電対 N熱電対、K熱電対、E熱電対、J熱電対、T熱電対

■ 校正範囲及び校正の不確かさ

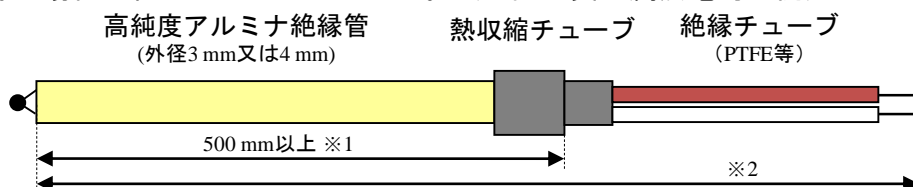
種類	校正範囲	校正の不確かさ ($k = 2$)
比較校正	0 °C	0.4 °C
	0 °C 以上 1 100 °C 以下	0.7 °C

校正の不確かさは、校正範囲で一番小さなものを記載しています。

《校正対象条件は以下のとおりです》

- 保護管付熱電対、シース熱電対
外形 10mm以下 長さ 500mm以上
- 素線
外形 10mm以下 長さ 600mm以上

- 素線の場合は組立てられていること。（下図は貴金属熱電対の例）



※1 絶縁管は単一長を推奨

※2 貴金属熱電対・卑金属熱電対の全長は500 mm以上

熱電対の形状や種類によっては、校正できない場合があります。

お問い合わせの際は、熱電対の種類、校正温度、形状（線径又は外径、長さ等）についてお知らせください。

■ 校正手数料

例 R熱電対比較校正 校正点1点の場合（1 100 °C以下）

基本料金	31,000 円	
点数料金	3,600 円	(3,600 円 × 1 点)
合計	34,600 円	(校正証明書を含む。税別)